

## 2学年通信

## Practice Makes Perfect

担当：外山

## ☆秋の夜長、進路を考える

大変暑い日が続きますが、体調などはいかがでしょう？秋分の日を過ぎたこれからは、だんだんと日照時間は短くなり過ごしやすい日が訪れるはずです。今年は癸卯四緑木星（みずのとうさぎしろくもくせい）の年で次の10年のことを考え、意識して計画することで、新しい人生の扉を開く年でもあると言われていきます。先を見据え、今後の人生の計画を立ててみるのもよいかもしれませんね。

## ☆キャリアプラン、意識していますか？

学校生活を一生懸命に生活している皆さんにとって「今のこと」にとらわれすぎて今後の進路を意識できていない人もあるかもしれません。しかし、一年後に皆さんは、就職希望の人は企業ごとの試験を受験することにもなり、進学希望の人についてははいよいよ受験対策・受験校選定が本格化するというタイミングともなります。待ったなしですね。だからこそ時には少し落ち着いて今後の見通しを検討することも大切かと思えます。

## ☆就職にしても、進学にしても…

就職希望の人はどのような仕事世の中にはあるのか、自分の興味関心は何に気持ちが向いているのか、自分のやりたい仕事をするのに必要な能力（資格とか個性・性格など）はどうかなど、まずは自らを把握できるように努めてみてください。

進学希望の人はいかがでしょう？四年制大学・専門学校などいろいろな学校があると思います。その中で自分が何を学び、その学んだことをどのように活かして能力を伸ばしたいのか。県外に出ることはできるか、それとも県内でなくてはならないのか…家族間で学費など金銭面の計画を確認する必要もあるはずです。

どちらの進路も『いつかは自らが仕事に就き、働いて（勤め先から）お金をいただく』、ということには変わりはないと思います。そのタイミングが早いのか、遅いか。だからこそ自らの決定が確かなもので揺らぎないものであることが必要になってくると思います。

## ☆なりたい自分から逆算してみる

将来の可能性は下調べや自己開拓を早くから進めることで選択の幅が広がる可能性もあります。ただ、知らないことには可能性がありません。知らないことに皆さんが本当に活躍できる道があるかもしれません。だからこそ、知っている仕事や業務を増やすことで選択肢も増えると思います。保護者の方と進路の話をする中で選択の幅が広がることもありますし、新聞やインターネット、テレビのニュースを通じて興味関心が持てることに気が付くことも増えると思います。

私自身は大学在学中に経験したことが興味関心となって『人と関わる仕事に就きたい』と考えるようになりました。自らが求め体験したことから現在の職業に就きたいという気持ちに結びついていると思います。

自分が経験したこと、自分が決めたことであるからこそ、苦しい時にも頑張れると思います。修学旅行の準備など、学校行事の多い2学期。ぜひ自らの可能性を広げるためにもいろいろな経験をして、考え抜くようにしてください。そのことが自らの将来の可能性を広げることになるかもしれませんよ。

## ☆10月（神無月）の行事予定・月訓『遵法』

|    |   |                              |    |   |                             |
|----|---|------------------------------|----|---|-----------------------------|
| 1  | 日 | 第一種電気工事士筆記試験(電気科)            | 16 | 月 | 二年生通常授業                     |
| 2  | 月 | 全校朝礼(月訓:積極進取)<br>チャレンジ0週     | 17 | 火 |                             |
| 3  | 火 |                              | 18 | 水 |                             |
| 4  | 水 |                              | 19 | 木 |                             |
| 5  | 木 | 15:50~執行部合同会                 | 20 | 金 |                             |
| 6  | 金 | 15:50~常任委員会                  | 21 | 土 | 後援会研修会                      |
| 7  | 土 |                              | 22 | 日 |                             |
| 8  | 日 | 第2回実用英語技能検定(一次)              | 23 | 月 | QU アンケート(1限)                |
|    |   |                              | 24 | 火 | QU アンケート予備日(授業後)            |
| 9  | 月 | スポーツの日                       | 25 | 水 | 二年生実力診断テスト(1~3限)            |
| 10 | 火 | 二学期中間試験1日目                   | 26 | 木 |                             |
| 11 | 水 | 二学期中間試験2日目<br>私学弁論大会         | 27 | 金 |                             |
| 12 | 木 | 二学期中間試験3日目                   | 28 | 土 | 愛産大大学祭                      |
| 13 | 金 | 二学期中間試験4日目<br>第二回体験入学会準備(3限) | 29 | 日 | 第二種電気工事士筆記試験(電気科)<br>愛産大大学祭 |
| 14 | 土 | 第二回体験入学会<br>受験対策講座           | 30 | 月 | 全校朝礼(月訓:読書)                 |
| 15 | 日 |                              | 31 | 火 |                             |

## ☆Meet A Deadline 『締め切りを守る』

仕事には『締め切り』があるのが普通だ。締め切りを守らない人と仕事をするほど、憂鬱なことはない。自分の責任の範囲の外で、チーム全体の仕事が遅れてしまう。締め切りを守れない人には、時間にルーズな人が多く、メールのレスポンス(応答)も遅い。自分の仕事が遅れることで相手の時間を奪ってしまっているという意識が低いのだろう。頻繁に遅刻する人にも同じことが言える。

仕事というのは、多くの人が連携・協力して成り立っているものであるはずなのだが、自分の作業しか見えていないために、「ちょっとくらい遅れても・・・」といった甘えが生まれてしまっていることも考えられる。その「ちょっと」が、どれだけ他の人に影響し、迷惑をかけるのか、想像しなければならない。

時間の見積もり、作業量の見積もり、自分のスキルに対する見積もり、あらゆる見積もりが甘すぎるので、あっという間に時間だけが過ぎていき、期限内に仕事が終わらないという事態がおきる。心理学的にも、人は自身に対する見積もりを甘く見る傾向があるそうなので、職業人としての常に注意を払い、責任をもって仕事に向かう必要がある。

プロとして仕事をする以上は、仕事の成果の質も重要だ。締め切り以内に100%満足のいく仕事ができなかったのなら、それは自身のスキル不足や仕事のやり方が間違っていたということだ。あくまで定められたルール内でできる最大限の仕事をする、それが職業人(プロ)というものだと考える。自分自身への反省を踏まえてこの文章を書いた。皆さんはどう考えるだろうか。